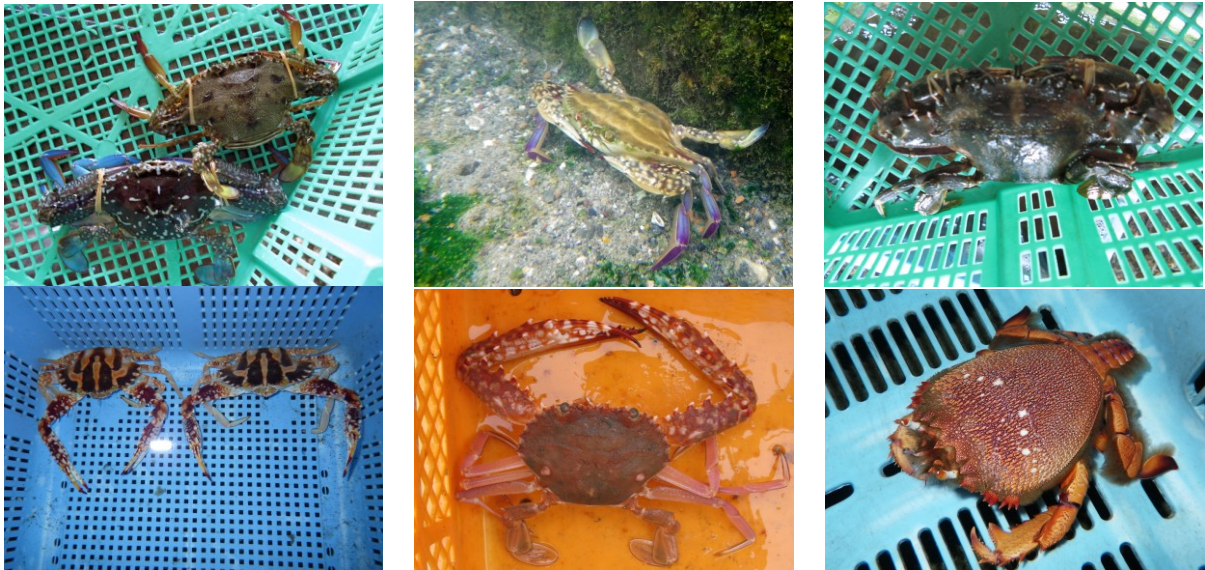


## その他かに類



高知県で漁獲されるかに類は、漁獲統計上、「がざみ類」と「その他かに類」に分けられています。がざみ類にはのこぎりがざみ類、タイワンガザミ（写真左上、左が雄で右が雌）、ガザミ（写真中上）が含まれます。がざみ類漁獲のほとんどはタイワンガザミで、ノコギリガザミ類は年間2～4トン、ガザミはごくわずかです。その他かに類にはいしがに類（イシガニ（写真右上）、モンツキイシガニ、ジャノメガザミ）、シマイシガニ（写真左下）、アカイシガニ（写真中下）、アサヒガニ（写真右下）等が含まれています。

### 県内の漁獲と資源動向

高知県のかに類漁獲量は、最近、減少傾向にあります（図1）。最近の漁獲量はガザミ類が8トン前後、その他かに類が6トン前後で推移しています。

がざみ類、いしがに類は主に内湾域で刺網により漁獲され、シマイシガニも若干含まれています（図2）。小型底曳網で漁獲されるのはシマイシガニやアカイシガニで、アサヒガニについては「かに玉」と呼ばれる専用の漁具があります。

浦ノ内湾で漁獲されるかに類の漁獲量は種類ごとに季節で異なります（図2）。これは、1～3月に刺網漁が行われないこと、産卵期や小型個体の加入時期が種で異なることが原因です。

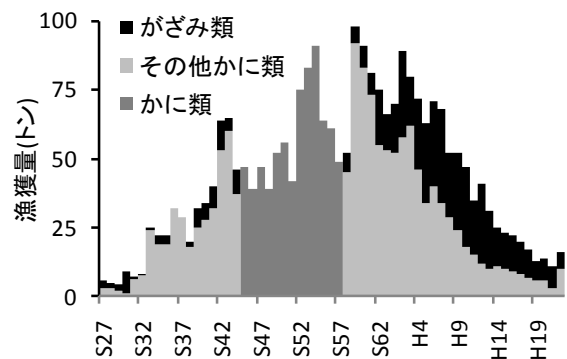


図1 高知県のかに類漁獲量の推移（昭和27～平成22年）。かに類はがざみ類とその他かに類両方を含む。

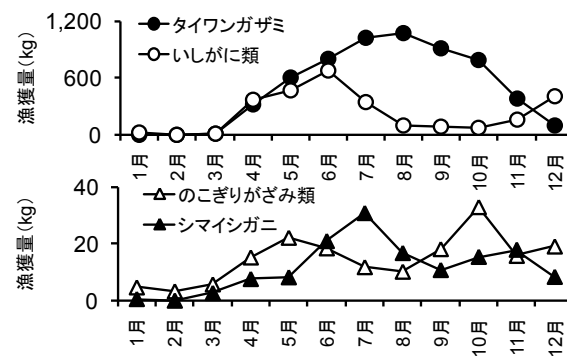


図2 浦ノ内湾におけるかに類4種の月別平均漁獲量（平成7～17年）。